

## 我が家のアイドル募集

- 対象 1歳を迎える市内在住のお子さん
- 締切 1歳の誕生日まで
- 申し込みに必要なもの
  - ①お子さんの写真（郵送・持参：裏面に記名、メール：5MB以内）  
※頭からあごまでが写り、顔の周りに余裕があるもの
  - ②お子さんの名前・性別・誕生日、住所、電話番号、保護者氏名
- 申込方法 郵送・メール・広報広聴係（市役所3階）へ直接持参

〒322-8601 今宮町1688-1  
 広報広聴係「我が家のアイドル係」  
 メール koho@city.kanuma.lg.jp

右のQRコード  
 からもメール送  
 信可能



# 市民のひろば

## 我が家の アイドル



1歳を迎えたお子さんを紹介します。  
 ※6月9日～6月12日生掲載



朝日町  
 小林 蒼くん  
 (R3.6.9生)

双子



朝日町  
 小林 暖くん  
 (R3.6.9生)



上殿町  
 早乙女 詩葉ちゃん  
 (R3.6.11生)



日吉町  
 根本 美玲ちゃん  
 (R3.6.11生)



茂呂  
 加藤 松代さん  
 (T11.7.29)



西鹿沼町  
 原田 フサ子さん  
 (T11.9.11)



府中町  
 矢部 正雄さん  
 (T11.9.24)



縦山町  
 飯塚 琴深ちゃん  
 (R3.6.12生)



縦山町  
 松葉 陽紀くん  
 (R3.6.12生)

# ぶんげい

## 市民俳壇

畦を行くくの字の腰に彼岸花

下材木町 中島 克敏

布団干す竿に蜻蛉の動かさる

西茂呂 北方 清

返り咲く花も葉も濃くブラシの木

深程 川津 明子

秋の雲図書館までを同伴す

楡木町 上野佐喜子

秋澄めり余韻にひたる版画展

下材木町 中島 成子

栗の飯三つ釘の園児服

万町 海原ゆう子

駅を出て見上ぐビル間に後の月

引田 斎藤 良明

星月夜改札口で友を待つ

村井町 飯塚 栄子

## 市民歌壇

小林 夏江選

木洩れ日に白き花穂の見えかくる道の辺に咲くサ

ラシナシヨウマ

口栗野 斎藤 悦子

シヨートステイより帰宅する母の部屋に木犀の花生け

西沢町 竹沢 敏子

指先につきし渋皮白いたつ今宵十五夜栗ごはん炊く

上殿町 山野 幸子

名前(ふりがな)・住所を明記し、  
 はがき・メールで応募ください。  
 締切は毎月20日(到着分です)。  
 〒322-8601 今宮町1688-1  
 メール koho@city.kanuma.lg.jp  
 広報広聴係(応募部門を明記)

布川 武男選

# 市民のチカラ

～市民団体とその活動を紹介～

No.4

朗読劇「cry!cry!!cry!!!犬達の遺言」  
公演実行委員会

設立：令和2年4月

代表：御地合 直美さん

「いのちの大切さ」を伝えることを目的に市内で同劇の公演活動を行う。



▲代表の御地合さん

朗読劇「cry!cry!!cry!!!犬達の遺言」公演  
実行委員会は、市民協働モデル事業の支援を受け、活動している団体です。

劇では、さまざまな理由で動物愛護センターにたどり着いた9匹の犬たちの命の叫びを演者9人が演じます。

代表の御地合さんは、「一人にも動物にも優しくなろうと思える作品。ペットを飼うことは命を預かること。今、飼うことを検討されている方は、ぜひその前に本公演をみていただきたい」と言葉に力を入れました。

また、この会の演者は、大人だけでなく子どももいます。学校や学童クラブで行われた公演に感動し、「この話を広めたい」と応募してくる子が多いとのこと。今年8月には、ジュニアチームを組み、発表会も行ったそうです。そのときに受けたカンパは、動物たちの餌などに換え、栃木県動物愛護センターに寄付しています。



今後公演を予定しており、「ぜひ多くの方に観てもらい、命の大切さを感じてもらいたい」と御地合さんは観劇を呼び掛けています。

## 「cry!cry!!cry!!!犬達の遺言」

とき 12月18日(日)  
開演 午前11時・午後5時  
(2回公演。各回70分)  
ところ カスケードガーデン2階  
(栃窪1219)  
定員 50人  
観劇料 大人2,000円  
(当日2,300円)  
小学生～18歳700円  
(当日1,000円)  
申込 公演実行委員会  
☎070 (1374) 7097  
まで。

友好都市・墨田区  
マイナンバーカード  
更生支援  
南摩ダム  
公共施設  
年末年始の業務案内  
市民のひろば  
フワッッシュ  
健康  
お知らせ  
いちご市の本棚

燃えるがに野辺を彩る彼岸花朝に夕べに心癒さる

入栗野 神山 和子

幼子の差す指避けて赤トンボ白き手摺に翅を休めし

日吉町 小川 豊治

水たまりに雀あそびて静かなり風のさやけき秋のおとずれ

茂 呂 植野 トク

コスモスの花風にゆれ笑う如秋空の下爽やかに咲く

御成橋町一丁目 秋澤 和子

病みしいま苦しい日々の我なれどペンは滑りて歌を生み出す

上野町 竹澤 光子

## 市民川柳

白石 洋選

物価高庶民の暮らし登り坂

加園 池田 大

天高く味覚嗅覚老い盛ん

西茂呂 阿部 金司

魅力度が住めば都を波立てる

酒野谷 杉山 進

猿除けがわたしを感知鳴り出した

塩山町 森野 静雄

ミサイルの狙った先に居た子猫

板 荷 島田 ふみ

テレビから旅行支援の手招きを

上殿町 小暮 靖子

ミサイルを花火のように上げる国

上野町 高橋 正光

敬老も昭和の御代に入れ替わり

下奈良部町 小野口 博

※選出の際に、選者による加筆・修正が入る場合があります。

11月号15ページに掲載したかぬまフラッシュ「私達の健康は私達の手で」に下記の誤りがありました。お詫びして訂正します。  
 誤：市食生活改善推進委員会 → 正：推進委員会



## ハロウィーンに楽しい学びを — 第27回ワールドフェスティバル・ かぬま学びフェスティバル2022・やんぐ祭<sup>さい</sup> —

ハロウィーンが近づく10月16日、市文化活動交流館で、3つのイベントが開催されました。

秋晴れの下、参加者の思い思いの仮装が会場を彩る中、「ワールドフェスティバル」では、世界の文化に触れて楽しく交流できるアトラクションが繰り広げられた他、「学びフェスティバル」では、市民の生涯学習の成果が発表されました。また、市内高校生が鹿沼の魅力をPRする「やんぐ祭」では、「まちあるきツアー」や「三本線大会」などが行われ、盛り上がりを見せました。

## かぬまシウマイ作ってみました！ — 内閣府「“おとう飯”<sup>ほん</sup>始めようキャンペーン」 —

10月26日、内閣府男女共同参画局で実施している「“おとう飯”始めようキャンペーン」に市長が参加し、市食生活改善推進員から指導を受けながら「かぬまシウマイ」と「はと麦入りミネストローネ」を作りました。

このキャンペーンは、男性の料理に対するハードルを下げることで、料理を通じた家事への参画を促し、男性の家事・育児等への積極的な参加を目指すものです。



## 白熱のプレーに沸く！障害者スポーツの祭典 — 第22回全国障害者スポーツ大会・いちご一会とちぎ大会 —

9月29日から31日にかけて、栃木県で全国障害者スポーツ大会が開催されました。本市では、TKCいちごアリーナを会場に、卓球・STT（サウンドテーブルテニス）が行われました。

スポーツを楽しみ、また真摯に向き合う選手たちの姿や、その闘志あふれるプレーが会場を大いに沸かせました。

## 理容店から市の魅力を発信！ — 市PR協力団体に理容業組合を認定 —

市内の理容業46店が加入する「栃木県理容生活衛生同業組合鹿沼支部」が、「いちご市KANUMAサポーターズ」に認定されました。市が、地域の企業や団体をサポーターズに認定し、市の知名度向上や魅力発信のために協力してもらう制度で、今回で27団体目となります。

組合では、市のシンボルキャラクター「ベリーちゃん」を使用したステッカーを加盟店に掲げるほか、利用者への市情報の提供に協力いただきます。

